

報 告

あかいけ

発行所 赤池町役場 編集 総務課 大谷孝進 No.121号

町の人口

(11月1日現在)

総人口	8,994人
男子	4,229人
女子	4,765人
世帯数	2,651世帯

低環境地区の

下水道工事始まる

下水道は上水道とともに住民の生活と健康に欠くことのできない基礎的な施設である。町内の下水道は大半が埋没しており、降雨時は、住宅に

侵入があり、ドブや、水たまりとなり、ハエや、カの発生原因になっている。大雨で各所が水びたしになったことも、下水道が完備していれば、こんなことはおきないだろうと被害者は口々に言う。

環境衛生面から、ハエやカを開放し、赤痢などの伝染病

を激減させるためにも、どろんこ道を解消するためにも、水害の心配をなくすためにも下水道の設備は、上水道とともに完備しなければならないと思う。

反面住民にとっては環境づくりは、一行政まかせではなく、住民一人ひとりが、環境思想を認識し、汚物などを下水道に捨てたり流したりしないように心がけ、両者が一体となって今後取り組んでいくべきではないだろうか。

いま二カ所で下水道工事を施行しているが、中尾地区は十月二十五日から十二月二十五日まで、国の低環境整備事業で施行している。道路は斜断しているので、

小竹、赤池バイパスから東町を通る車は注意するとともに工事に協力を願いたい。一方、上の原の下の工事は鉦害復旧工事で施行しているが別に通行に支障はない。町が計画している下水道整備事業は、鉦害復旧事業などにより延長約五千メートルに及んでいます。

今後、下水道整備事業の推進を急がなければならないが国庫補助金の制限、起債充当率の低減、くわえて交通の支障や、工事単価の上昇などの制約があり、整備事業の障害となっているが、これらの改善をはかりつつ下水道の建設を促進する必要がある。



目立たない下水道工事

土を掘り返し、もくもくと続けられている下水道工事に目をやる人はすくない、大きなコンクリート管を埋設すれば、人目にふれるのはマンホールのフタだけ、地味である土木工事のなかでも、とくに目立たないのが下水道工事。しかし、きれいな水を送りとどける上水道とともに、汚れた水を仕末する下水道は住民の生活にとって欠くことのできない大切な役割を果している。

暖房器具のあつかいは慎重に

火災予防運動はじまる

ことしの冬は、いつもより早く到来し、寒さもきびしくなりそうです。

ことしも、十一月二十六日から十二月二日まで、全国いっせいに火災予防運動が行なわれます。暖房器具などの取り扱いについては、充分ご注意されるようお願いいたします。

灯油ストーブが
倒れたときに

①石油ストーブを倒したときは着火しないときでも、着

火したときでも、あわてず早く起す。また、手早くちかくの燃えやすいものを取りのぞく。

②石油ストーブは、できるだけ畳の上に置くこと。

③もし着火したときは、毛布などで炎を包むようにつけすき間をつくらぬように足で踏みつけ、そのちに水をかけること。

④水は石油ストーブのしんをめぐらして一度にかける。